

羽咋市こども計画(素案)に係る意見募集結果について

- 1 募集期間 令和7年2月1日(土)～2月25日(火)
- 2 意見提出者数 11人
- 3 意見等の概要及び回答

No.	項 目	意見の概要	回 答
1	第2章 子ども・若者を 取り巻く状況	・子ども・子育てニーズ調査(保護者アンケート)、子ども・子育てニーズ調査(児童・生徒、若者アンケート)の調査数、回答数はどれくらいなのか？	ご指摘いただきありがとうございます。 保護者アンケートや児童・生徒、若者アンケートの回答率は、推計71.5%、児童が推計35.1%、生徒が推計32.6%、若者が推計32.6%です。 調査対象および調査数について、羽咋市こども計画内で記載いたします。
2	第2章 子ども・若者を 取り巻く状況	・子ども・子育てニーズ調査結果では、子どもの減少や未婚率の増加などマイナス面ばかりが記載されているが今後は、どういった対策で子ども達が増え、若者が定住し、活気ある羽咋市になっていくのか期待したい。具体的に産婦人科の誘致や発達に関する専門的な施設が開設することで、もっと人口増になると思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 子どもの減少や未婚率の増加は、羽咋市に留まらず全国的な問題とされていますが、市としまして、婚活イベントの開催等出会いの場の創出や結婚・子育てに係る経済的な負担の軽減、産前産後の家庭支援サービスの充実などさまざまな施策が子どもの増加や未婚率の低下に寄与するものと考えています。 産婦人科の誘致や発達に関する専門的な施設の開設につきましては、市内での分娩施設の整備は困難な状況ではありますが、他の医療機関と連携し、出産や育児不安、発達など妊産婦や子育てに関する一体的な相談窓口として、こども家庭センターが令和5年度に開設しており、今後も横断的な支援体制の充実を図っていきます。
3	第2章 子ども・若者を 取り巻く状況	・子どもの数が減ってきているのがわかるだけに今後の羽咋市はどうなるのかと不安になります。そのためにこども計画があるのかと思うのですが、どれだけ良い計画や見通しがあっても市民がそのことを知っていないと計画だけに終わってしまう気がします。子どもたちのことを考えてあるとても良い計画案だと思いますのでぜひうまく機能してほしいと思いました。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 羽咋市こども計画の策定後は関係各所への配布や市ホームページへの掲載、子育て支援アプリなどでの計画内容の周知を保護者だけでなく、子ども・若者にも広く発信を行っていきます。 また、計画を推進していくために毎年度施策の実施状況や指標の達成状況について報告・評価を行い、改善点を検討していきます。

No.	項 目	意見の概要	回 答
4	第2章 子ども・若者を 取り巻く状況	・子育て支援アプリの機能の充実を求めます。 現在、予防接種の確認や予診票の記入、子育てサロンの行事の確認で主にアプリを使っています。 保育園の子育て広場の予約をアプリでできたら大変有難いです。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 羽咋市で運営している子育て支援アプリ「母子モ」では、子育て支援制度やイベント・行事案内をはじめ、予防接種のデジタル予診票の提出や両親学級や一時預かりのオンラインでの予約などアプリ機能の拡充を進めてきました。 令和7年には、母子手帳をもらうためのオンライン予約や、病児保育の利用受付などを導入予定であり、今後も利便性の向上に努めていきたいと考えています。
5	第2章 子ども・若者を 取り巻く状況	・元々フルタイムで就労していましたが、祖父母の援助も難しく、子どもの体調不良などで急な早退や休みに対応しやすいように今はパートで就労しています。ですが近年の物価上昇と子どもの進学等でフルタイムor時短勤務での就労に悩んでいますおり、ファミリーサポートなどのサービスがあるのは知っていますが、お金がかかるので利用したことがありません。 未就学児だけに限らず、小・中・高の学生に対しての助成などがあれば金銭面でもとても助かるなと思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 P.43 基本施策Ⅱ-4「安心して子育てできるサービスや制度の充実」の施策3「子育て・教育における経済的支援の充実」で記載しており、小学校入学祝い金事業をはじめ、保育料無償化、学校給食費無償化などそれぞれの年代において、市が独自で実施している経済的支援がございます。経済的支援に加え、多様な子育て支援サービスの充実を図り、子育てしやすいまちづくりへ取り組んでいきたいと考えています。
6	第2章 子ども・若者を 取り巻く状況	・子どもの数が減ってきているのに不登校の子どもが増加していることが気になります。子どもたちを取り巻く子ども社会は大人が考える以上に複雑で難しいものということなののでしょうか。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 不登校の子ども増加は、本市のみならず全国的な問題となっており、主な要因として、友人関係や健康、学校や家庭などさまざまな要因があります。子どもを取り巻く環境の変化は複雑化しており、不登校の子どもへの早期支援やひきこもりの予防をはじめ、学校以外の居場所づくりの整備や関係機関への支援に努めていきます。

No.	項 目	意見の概要	回 答
7	第4章 施策の展開	・羽咋市は他の市よりも子育てに関しては充実していると感じています。保育料の無償化、学校給食費の無償化、出生祝金などとてもありがたいです。 また、住まいづくり奨励金もあり、家を建てるにあたり少しでも助成があり助かります。 病児・病後児保育が充実すればいいなと思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 P.13 羽咋市子ども・子育てニーズ調査(保護者)において、「子育てにかかる経済的支援の充実」を望むと8割弱の保護者が回答しており、R6年度からの保育料無償化や学校給食費無償化など経済的支援の充実を図ってきました。 また、「屋内の遊び場の充実」や「病気の子どもを預けることができる施設の確保」なども求める声が大きく、R6年度のLAKUNAはくいの開設やR7年度の羽咋すこやかセンターでの病児保育施設の開設など子育てしやすい環境の充実を今後も図っていきたいと考えています。
8	第4章 施策の展開	・P.42 基本施策Ⅱ-4 安心して子育てできるサービスや制度の充実「幼児教育・保育料無償化」「学校給食費無償化」となり、とても助かっております。経済的支援の充実は、子育てにかかる負担軽減となり、子育て世帯にとってありがたいです。こうした支援が充実していくと、子育てのしやすいまちとなり、子育て世帯も増加につながると思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 R6年度からは保育料無償化や学校給食費無償化など経済的支援の充実をこれまで図ってきました。今後も経済的支援の充実をはじめ、多様な子育て支援サービスの充実を図り、子育てしやすいまちへ取り組んでいきます。
9	第4章 施策の展開	・他県より移住をしてきましたが、子育てや住まいのことで困ることが震災後多くなりました。申請をしても全く通ることがなく計画の内容も期待はしないようにします。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 令和6年能登半島地震の影響により、子どもの取り巻く環境など一層の変化があったと考えています。特に被災された子どもや若者、保護者においては、暮らしの再建や心身の健康の維持が課題となっており、羽咋市こども計画でP.49 基本施策Ⅲ-1:「被災地域の子ども・若者」、「家庭への支援」を記載しており、被災家庭の暮らしの支援や子どもと保護者の心身のケアに努めていきたいと考えています。

No.	項 目	意見の概要	回 答
10	第4章 施策の展開	・P.55 基本施策Ⅲ-5 不登校や中退、ひきこもり等への支援について 不登校になる前に、子どものSOSに学校や保護者が気づいた時にどのような可能性があるか(学校に行けなくなる)を考えて対応できるような体制づくりをしていけたらいいと思います。 保護者も、子どもが不登校になっては初めてどうしたらいいのか悩み「無理に学校へ行かなくてもいい」という状況を理解しようとしつつも、我が子だけが取り残されているような不安があります。 不登校になってからいろいろな支援がある事を知りましたが、不登校になる前にできる支援や対応、大人にも知識が必要だと思います。 大人も子どもも見えて知ることができる環境を作ってほしいです。 関係機関や支援体制が分かるホームページがあると親も調べやすいです。 そうすれば、学校と家庭での連携もスムーズかと思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 令和5年4月に市こども課が発足し、保健・福祉・医療を包括的に担い、こどもからの相談や手続きなどをワンストップに対応しています。今後も関係機関と連携し、支援体制や支援制度等、広く発信を行っていかねばと考えています。
11	第4章 施策の展開	・P.60 基本施策Ⅳ-3 多様なあそび場や居場所づくり LAKUNAはくいができたこと、またそこを生かしたイベントが行われるようになったことも子どもたちにとっても我々親にとっても、すごく魅力的であり、ありがたいです。運動公園の遊具が新しくなったように、市内の他の公園も、整備されるとうれしく思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 令和6年に開設したLAKUNAはくいではさまざまなイベントの開催や子どもたちが遊べる屋内公園を設置し、賑わい創出に努めています。P.59「子育てしやすい安全・安心な環境づくり」の施策として、こどもの遊び場の整備や公園・緑地等の更新、維持管理に今後も継続して努めていきたいと考えています。
12	第4章 施策の展開	・現在小学校2年男児一人子育て中です。自分自身としては、羽咋市の子育て環境は悪くないと思っています。 こども計画の理念は共感は出来ますが、やはり「すべて」のと言ってしまうと難しいと言わざるを得ないのではと思います。同学年の子ども達を考えてみただけでも、ネグレクトとまでは言えなくても、家庭に問題があるのではと思える子どもがいます。可哀想と思うと同時に、親に対して、何故出産したのだらうと思います。行政が子育てがしやすく、子どもが笑顔でいられる様にと考えてくださる事は、有難いことで大事な事だと思いますが、少子化などに囚われず、子どもを産む、育てると言うことを根本的に小さい頃から考えさせる事も必要なのではと思います。私は子どもはいなくても良い、経済的余裕があったとしても一人でという考えです。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 羽咋市こども計画では、すべての子ども・若者が日々幸せを感じながら笑顔いっぱい過ごせるまちにできるよう、基本理念「チーム羽咋で育もう こどもの笑顔輝く 確かな未来」を掲げています。 さまざまな困難を抱えた子どもや若者などへの支援をはじめ、すべての子ども・若者の確かな未来のために、さまざまな施策を実施していき、将来、子どもを持つことを希望する方が安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に向け取り組んでいきたいと考えています。

No.	項 目	意見の概要	回 答
13	第5章 子ども・子育て 支援事業の量 の見込みと確 保方策	・子ども・子育て支援事業の多さに驚きました。事業について知らない人がたくさんいると思うので周知の仕方に工夫があると良いと思いました。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 羽咋市こども計画の策定後は、関係各所への配布や市ホームページへの掲載、子育て支援アプリなどでの計画内容の周知を保護者だけでなく、子ども・若者にも広く発信を行っていきたいと考えています。
14	第5章 子ども・子育て 支援事業の量 の見込みと確 保方策	・病児保育を利用したいので、増やしてもらえるのはありがたいです。 子育てサロンもすごく利用しているので今後も続けて行ってほしいです。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 P.13 羽咋市子ども・子育てニーズ調査(保護者)において、「病気の子どもを預けることができる施設の確保」を求める声は大きく、R7年度に羽咋すこやかセンター内での病児保育施設開設を予定しており、子育てしやすい環境の充実を今後も図っていきます。 子育てサロンについては、子育て等についての相談や情報の提供、子育て家庭がつながりあうことのできる場として、今後も多くの人に利用してもらえるよう努めていきたいと考えています。
15	第5章 子ども・子育て 支援事業の量 の見込みと確 保方策	・羽咋市として住みやすく、子どもにやさしい政策をとっていただきたい。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 今回の羽咋市こども計画では、「基本目標Ⅰ 子ども・若者の声が届くまち」として、すべての子ども・若者の権利が守られ、尊重されることや子ども・若者自身の声がさまざまな施策に生かされるまちを目指し、今後計画の推進や事業を実施していきます。